

# 若宮地域

— 将来像 —

## もやいのまち 若宮

～もやい（市民の交流）の醸成による賑わいのある地区拠点づくり～

### （1）地域の概況

#### ■位置・地勢

若宮地域は市の中央部に位置する地域です。

地形は大きく北部の平坦部と南部の山間部で構成され、中央を一級河川である犬鳴川が横断しています。また、西側には支川の山口川が合流しています。

犬鳴川を挟む平坦部においては、若宮地区の中心となる市街地が形成されるとともに、水田が広がっています。

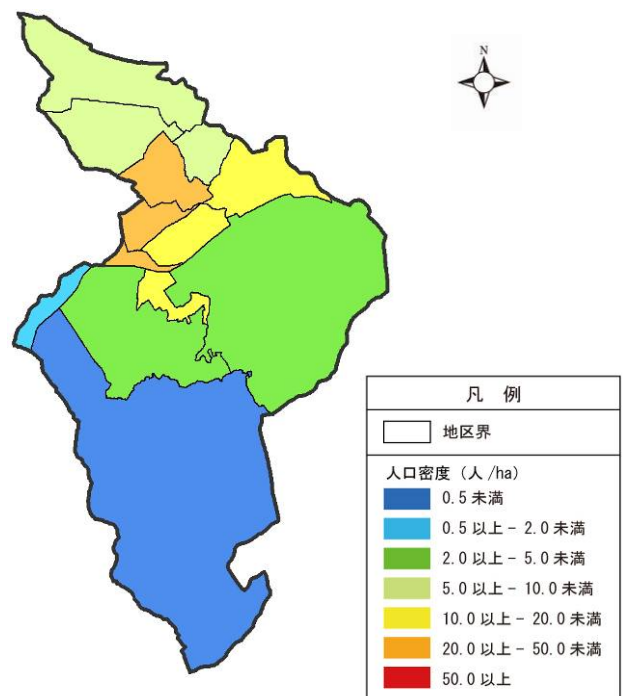
南部は笠置山の裾野の自然地となっており、田園地と一体となって豊かな自然環境を形成しています。



#### ■人口

人口は、平成17年現在約3,900人であり、市全体の13%に相当します。

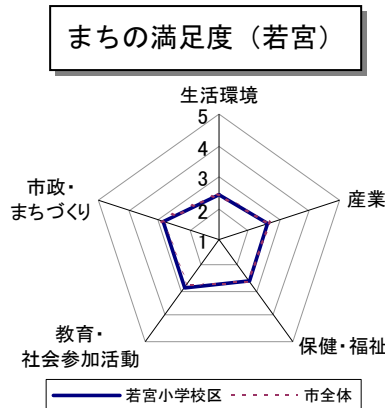
地域のなかでは、中央西部に人口が集中しています。



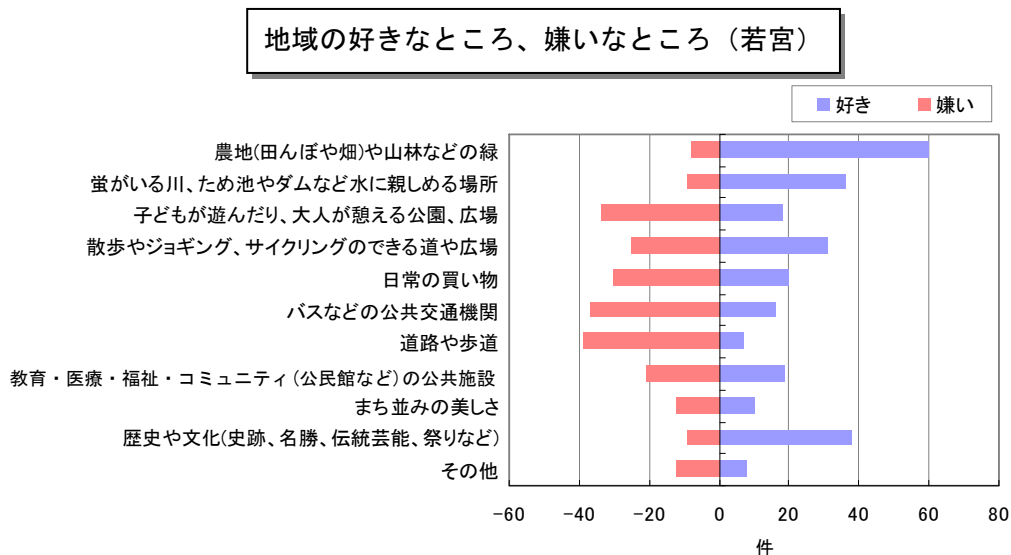
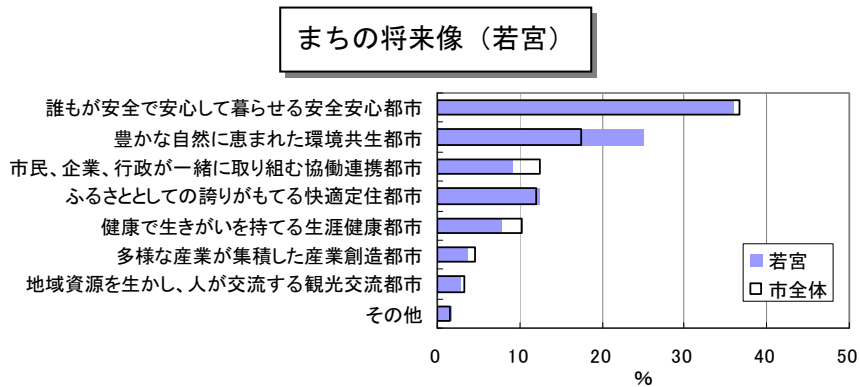
注) 人口密度の母数となる面積は、道路や水面などが居住できない土地を除いた面積としています。

■市民の意向

- ・ まちの満足度は、市全体とほぼ同じ傾向にあり、全ての項目で満足度が低くなっています。
- ・ 地域の人々が求めるまちの将来像は、安全・安心な暮らしの意向が強いととも、市全体と比べて、豊かな自然に恵まれた環境共生都市を望む声も多い傾向にあります。
- ・ 地域の好きなどところとして、農地や山林などの緑や、歴史や文化が多く挙げられています。道路や公園、公共交通などには改善が求められています。



注) グラフの数値は、回答項目の「非常に満足」に5、「おおむね満足」に4、「どちらともいえない」に3、「やや不満」に2、「非常に不満」に1とそれぞれに数値を与え、回答者との加重平均をしたものである。5に近いほど評価は高く、1に近いほど評価は低い。



## (2) 地域の現況と課題

### ■土地利用

- ・ 中心部の主要地方道 福岡直方線と飯塚福岡線の交差点周辺には、若宮コミュニティセンターや郵便局などの公共施設が集積しており、若宮地区の中心となる市街地が形成されています。
- ・ 西部の主要地方道 福岡直方線沿線においては、保健センターパレットのほか体育館やグラウンドを併設した中央公民館若宮分館が立地しています。
- ・ 北部の若宮インターチェンジと宮田団地を結ぶ主要地方道 室木下有木若宮線沿線には工業地が形成されています。
- ・ 主要地方道 飯塚福岡線沿線にスーパーや飲食店などの商業集積が行われていますが、主要地方道 福岡直方線と並行する市道 樓門田平田線、千田町線沿線の旧来からの商店街は衰退しており、人通りの復活が求められています。
- ・ 市街地の周辺にはまとまりのある田園地が存在しており、今後も豊かな田園地として保全していくことが望まれます。

### ■交通体系

- ・ 主軸となる幹線道路として、主要地方道 福岡直方線、飯塚福岡線、室木下有木若宮線が配されています。
- ・ 主要地方道 飯塚福岡線の若宮コミュニティセンター周辺の交差点では、朝夕の時間帯で渋滞が発生しています。
- ・ 幹線道路の一部では、歩道が未整備の区間が残されているとともに、住宅地内では通過交通が流入しており、歩行者の安全性が懸念されています。
- ・ 主要地方道 福岡直方線沿いには福丸バスセンターがありますが、老朽化に伴い簡易的な構造物による待合所となっていることから、交通結節点に相応しい施設整備が求められています。
- ・ 公共交通機関として、宮田方面や福岡方面などの市外へアクセスする路線バスが運行されているほか、福祉施設送迎バスが運行していますが、利便性の向上が求められる一方、存続危機にさらされています。

### ■公園・緑地

- ・ 犬鳴川沿いには遊歩道が整備されており、市民の散歩道として活用されているとともに、保健センターパレットより右岸下流に位置する黒丸川合流部では、さくら堤公園も新たに計画されています。
- ・ 犬鳴川沿いの遊歩道では、協働による維持管理が行われています。
- ・ 住宅地内には、生活に密着した身近な公園が不足しています。

### ■その他の都市施設

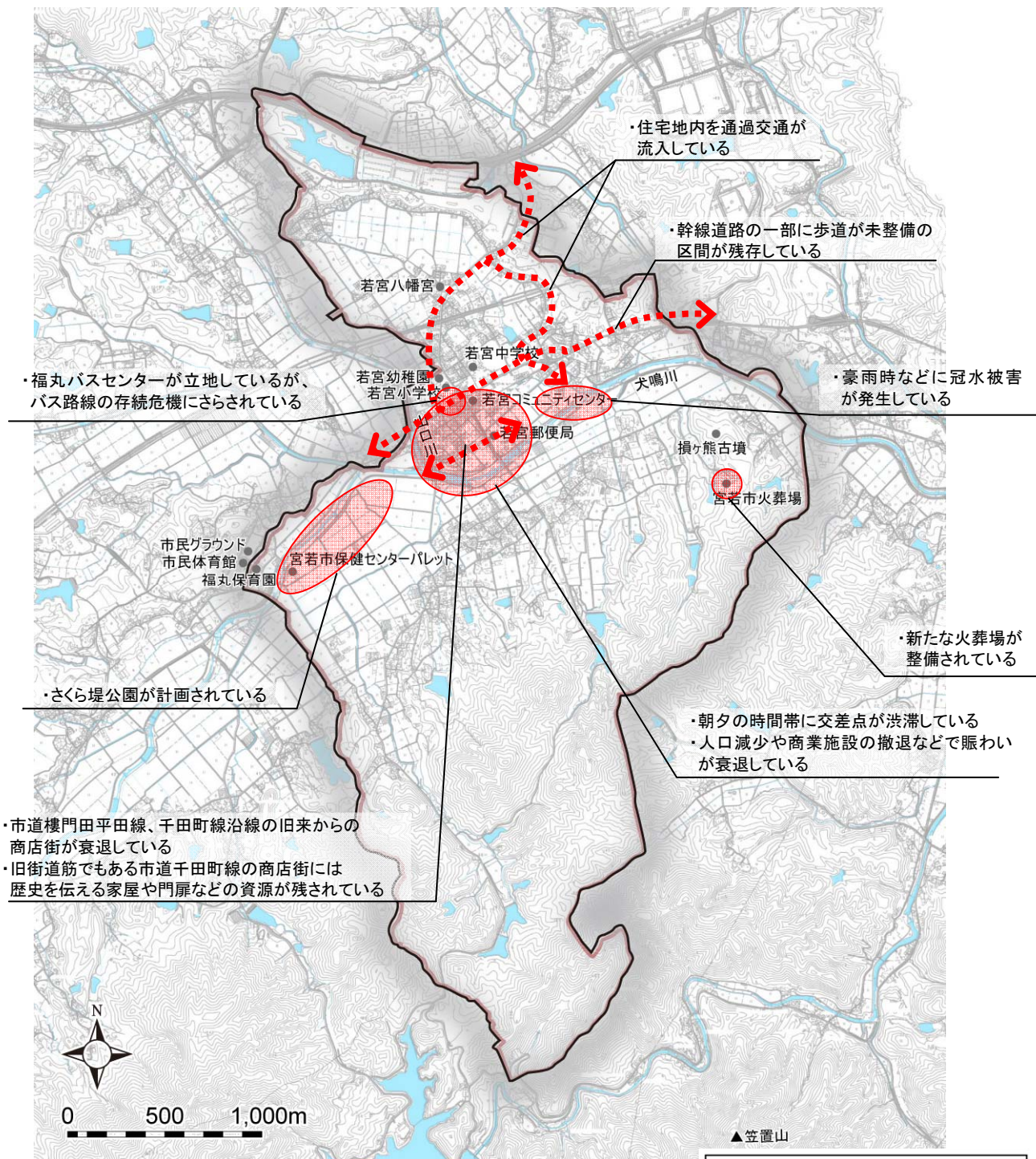
- ・ 安全で安定した飲料水は、簡易水道事業により一部へ提供されていますが、水道が利用できる区域において、100%の世帯の利用が求められています。
- ・ 市街地部や集落地では特定環境保全公共下水道の計画区域に指定されていますが、近年の財政悪化などから整備が遅れています。
- ・ 東部では、新たに火葬場が整備されています。

### ■市街地整備

- ・ 若宮コミュニティセンター周辺の市街地は人口減少や商業施設の撤退などで賑わいが衰退しており、地区拠点にふさわしい活力の再生や定住化が課題となっています。
- ・ 市道 千田町線の商店街は旧街道筋でもあり、炭鉱最盛期の歴史を伝える家屋や門扉が一部残存しており、人通りの再生や地域資源としての活用が求められています。
- ・ 主要地方道 福岡直方線より北側の住宅市街地内は、狭隘な生活道路が多く自動車の円滑な通行に支障をきたしているとともに、産業関連交通の流入も見受けられることから、歩行者・自転車の安全性が懸念されています。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 屋外広告物が無断で設置され、景観の阻害要因となっています。
- ・ 犬鳴川や主要な道路では、ごみの不法投棄や雑草などで景観が阻害されている区間があります。
- ・ 主要地方道 福岡直方線の整備に伴い、地域資源である史跡や大樹に影響を与える恐れがあるため、保存に向けた対策が求められています。
- ・ 若宮八幡宮では、江戸時代から続く福岡三大放生会の一つである若宮八幡宮放生会大祭や大名行列などの祭りが開催されており、保存が望まれています。
- ・ 地域を通過する幹線用排水路である金丸水路は老朽化が著しく、また断面不足により通水に支障をきたしており、田園地において豪雨時に冠水被害が発生しています。



凡例	
用途地域種別	
	第二種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	工業地域

▲地域の現況・課題図

注) 当地域には用途地域が指定されていません

### (3) 地域の将来像

#### 『もやいのまち 若宮』

若宮地域では、本市の地区拠点として若宮コミュニティセンター周辺への公共施設の集積を図るとともに、協働による商店街への集客向上の取り組みを進めながら、暮らしやすく賑わいのある地域づくりを進めていきます。

幹線道路における歩道整備や高速バスを含めた公共交通の利便性向上のほか、豪雨時の冠水対策を進め、安全に暮らせる環境づくりを図ります。

若宮コミュニティセンターを核としつつ、様々な地域内外の人が交流し語らう取り組みを通じながら、地域づくりを支えるもやい(市民の交流)の醸成を進めていきます。

### (4) 地域づくりの方針

#### ■土地利用

- ・ 土地利用の規制・誘導策と併せ、必要に応じて宮田都市計画区域の拡大について検討を行います。
- ・ 地区拠点である若宮コミュニティセンター周辺の商業地においては、用途地域指定などによる一定規模以上の集客施設の立地規制を検討しつつ、商業施設、公共施設と住宅が調和した魅力ある市街地形成を進めるとともに、高齢者をはじめとして誰もが暮らしやすい環境づくりを進めます。
- ・ 住宅地及び集落地については、生活道路、公園、下水道など生活基盤施設の整備により快適な住環境の形成を図り、豊かで活力のある住宅地・集落地の形成に努めます。
- ・ 交通体系の整備とあわせて沿道の土地利用を有効活用し、工業拠点である主要地方道 室木下有木若宮線沿線の工業地としての利便性の向上を図ります。
- ・ 豊かな田園地については、貴重な地域資源として積極的に保全していきます。

#### ■交通体系

- ・ 主要地方道 福岡直方線においては、若宮コミュニティセンター整備と連動した自転車歩行者道の整備を促進します。
- ・ 主要地方道 飯塚福岡線については、バイパス整備を促進し、交差点の渋滞緩和と地区拠点である市街地への自動車交通集中の解消を図ります。
- ・ 幹線道路の機能強化を促進し、住宅地内への通過交通の流入抑制に努めます。
- ・ 福丸バスセンターにおいては、交通結節点にふさわしい施設整備の促進について、事業者と協議・検討を進めます。
- ・ 公共交通機関である路線バスや、福祉施設送迎バスは、高齢者をはじめとした交通弱者の重要な交通手段であることから、地区内各所や市役所周辺の中心拠点、高速バス停留所、周辺市町の鉄道駅などとの連絡維持・強化に努めます。また、バス路線が存続するよう、より一層の利用促進を図ります。

### ■公園・緑地

- ・ さくら堤公園は、犬鳴川における新たな親水空間の場として、その整備推進を図ります。
- ・ 散歩や憩いの場として利用されている犬鳴川沿いの遊歩道については、協働による維持管理の継続を促進します。
- ・ 市民の生活に密着し、子育てや地域のコミュニティ形成などに寄与する身近な公園の必要性について、調査・検討していきます。

### ■その他の都市施設

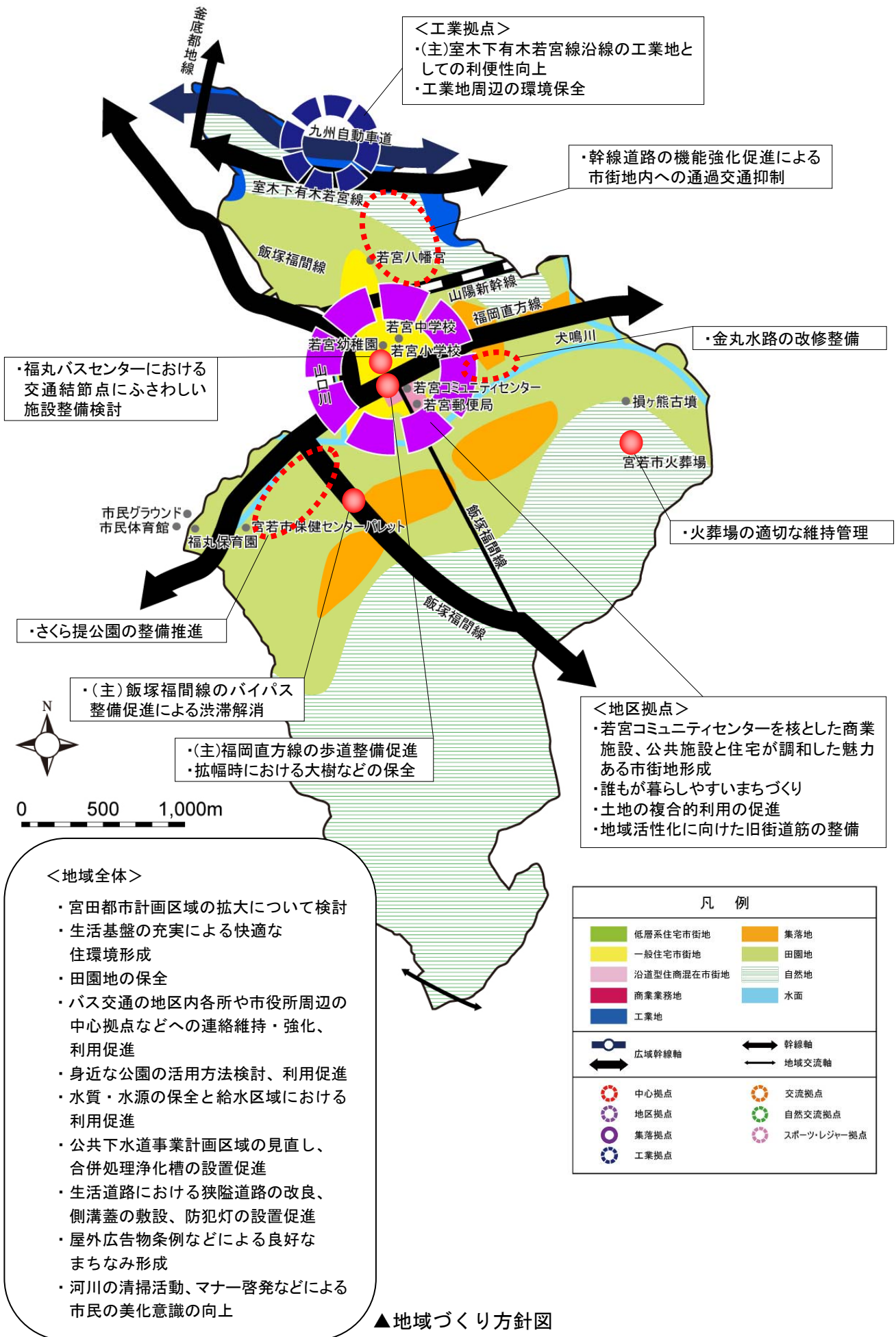
- ・ 安全でおいしい飲料水を安定して提供するため、水源・水質の保全に努めるとともに、給水区域においては利用促進を図ります。
- ・ 下水道については、経済情勢の悪化など社会環境が変化するなかで事業の効率化を図るため、合併処理浄化槽事業などの役割分担のもと、公共下水道事業計画区域の見直しを行うとともに、下水道計画区域外においては合併処理浄化槽の設置を促進します。
- ・ 火葬場については、適切な維持管理を図っていきます。

### ■市街地整備

- ・ 地区拠点である若宮コミュニティセンター周辺においては、1階は店舗で2階は住宅といった下駄履き住宅や低中層集合住宅などの立地を促進し、土地の複合的利用を図ります。
- ・ 市街地や住宅地及び集落地内においては、狭隘な生活道路の改良、側溝蓋の敷設を推進するとともに、防犯灯の設置を促進し、歩行者の安全確保に努めます。
- ・ 旧街道筋である市道 樓門田平田線、千田町線、福丸湯原線について、地域活力の再生に向けた整備を推進します。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 無秩序な開発や市街地の拡散を抑制するとともに、屋外広告物条例による規制誘導などを推進し、良好なまちなみ景観の形成に努めます。
- ・ 河川や水路の水質保全のため、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置を促進するとともに、市民ボランティアを通じた河川の清掃活動、市民へのマナー啓発などを推進し、市民の美化意識の向上を図ります。
- ・ 主要地方道 福岡直方線の道路拡幅に伴い、影響を受けることが想定される大樹など地域資源の保全について、関係機関と協議を進めます。
- ・ 地域資源である豊かな自然環境との調和を図るため、工業地周辺の緑地化を促進するなど、地域と一体となった環境整備に取り組みます。
- ・ 若宮八幡宮における祭りは、歴史的資源であるとともに地域コミュニティの形成にも寄与することから、将来にわたり保全していきます。
- ・ 豪雨時などにおける田園地の冠水要因となっている金丸水路は、改修整備と定期的な点検などによる適切な維持管理を推進します。





# 山口地域

— 将来像 —

## きて、みて、住んでみらんね山口に

～市の玄関口にふさわしい魅力ある住環境づくり～

### (1) 地域の概況

#### ■位置・地勢

山口地域は市の北東部に位置し、北を福津市と接する地域です。

南部一帯は西山をはじめとした山間地が広がっており、山谷からは山口川が流れています。

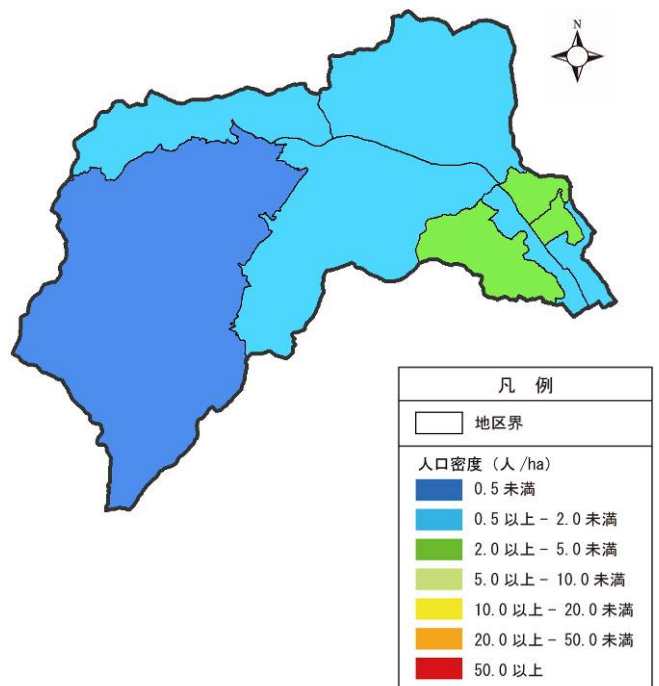
山口川流域の谷合にある平地では、水田や集落地が形成されています。



#### ■人口

人口は、平成17年現在約1,300人であり、市全体の4%に相当します。

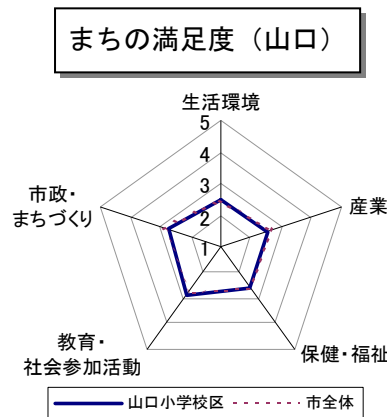
地域のなかでは、東部に人口が集中しています。



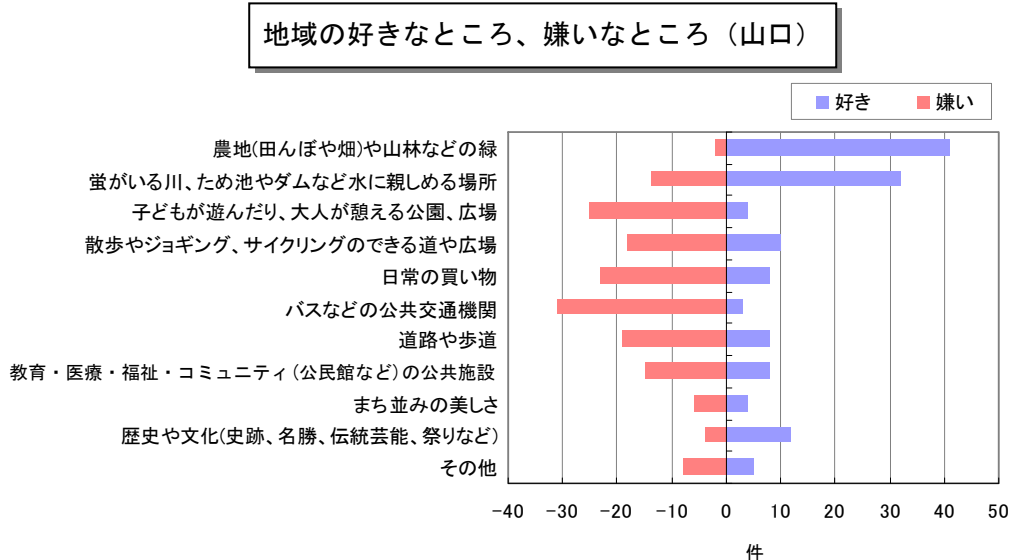
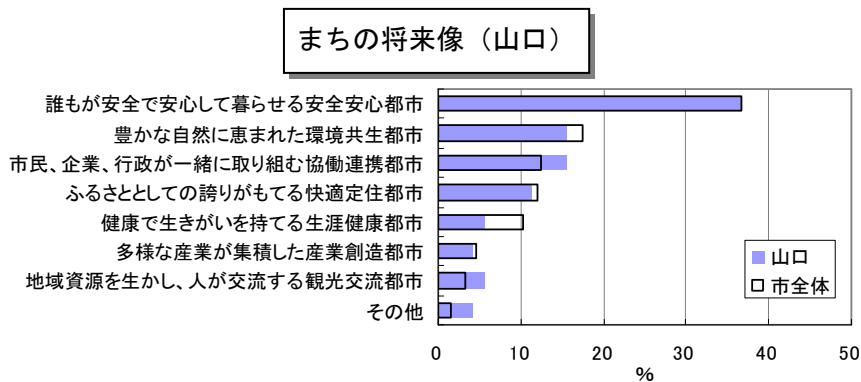
注) 人口密度の母数となる面積は、道路や水面などが居住できない土地を除いた面積としています。

## ■市民の意向

- ・ まちの満足度は、市全体とほぼ同じ傾向にあり、全項目で満足度が低くなっています。
- ・ 地域の人々が求めるまちの将来像は、安全・安心な暮らしの意向が強いつともに、自然環境や協働によるまちづくりを望む声も多い傾向にあります。
- ・ 地域の好きなどころとして、農地や山林などの緑や親水空間が多く挙げられていますが、公共交通や公園、日常の買い物などには改善が求められています。



注) グラフの数値は、回答項目の「非常に満足」に5、「おおむね満足」に4、「どちらともいえない」に3、「やや不満」に2、「非常に不満」に1とそれぞれに数値を与え、回答者との加重平均をしたものである。5に近いほど評価は高く、1に近いほど評価は低い。



## (2) 地域の現況と課題

### ■土地利用

- ・ 南部は西山をはじめとする豊かな自然に囲まれているとともに、山口川流域には農地が広がっています。また、弥ヶ谷、里、大谷には蛍が生息しており、これらの自然環境を地域資源として保全していくことが必要です。
- ・ 山口小学校周辺ではまとまりのある集落地が形成されており、地域活動やイベントなどが活発に開催されていますが、商店が少なく、日常の買い物などにおける利便性の向上が求められています。
- ・ 東部には九州自動車道若宮インターチェンジが整備されており、その周辺には工場地や集落地が形成されています。
- ・ 産業誘致や工場の立地に伴い、集合住宅を含めた新たな宅地やビジネスホテルなどが開発されるなど土地利用が混在化しつつあります。
- ・ 将来的には、工場と住宅が隣接して立地することによる排水や騒音などのトラブルの発生が懸念されます。

### ■交通体系

- ・ 中央を九州自動車道が横断しているとともに、主軸となる幹線道路として、主要地方道 飯塚福岡線、若宮玄海線、宗像篠栗線が配されています。
- ・ 通学路指定となっている道路の一部では、交通量が多い区間や歩道が未整備の区間、防犯灯が少ない区間が残されており、歩行者の安全性が懸念されています。
- ・ 南部には狭隘な道路が残存し、自動車の円滑な通行に支障をきたしているとともに、歩行者・自転車の安全性が懸念されています。
- ・ 通勤時間帯には、若宮インターチェンジ周辺に向かう交通で主要地方道 飯塚福岡線が渋滞しており、周辺集落地における通過交通が多く見られます。
- ・ 公共交通機関である路線バスや、福祉施設送迎バスが運行していますが、利便性の向上が求められている一方、利用者の減少などによりバス路線の存続危機にさらされています。

### ■公園・緑地

- ・ 西山には馬口キャンプ場が整備されていますが、利用促進が課題となっています。また、キャンプ場周辺には絶滅危惧種<sup>\*</sup>のオオサンショウウオが生息しており、周辺を含めた自然環境を保全していくことが必要です。
- ・ 集落地内には、生活に密着した身近な公園が不足しているとともに、散歩中の休憩施設なども望まれています。

### ■その他の都市施設

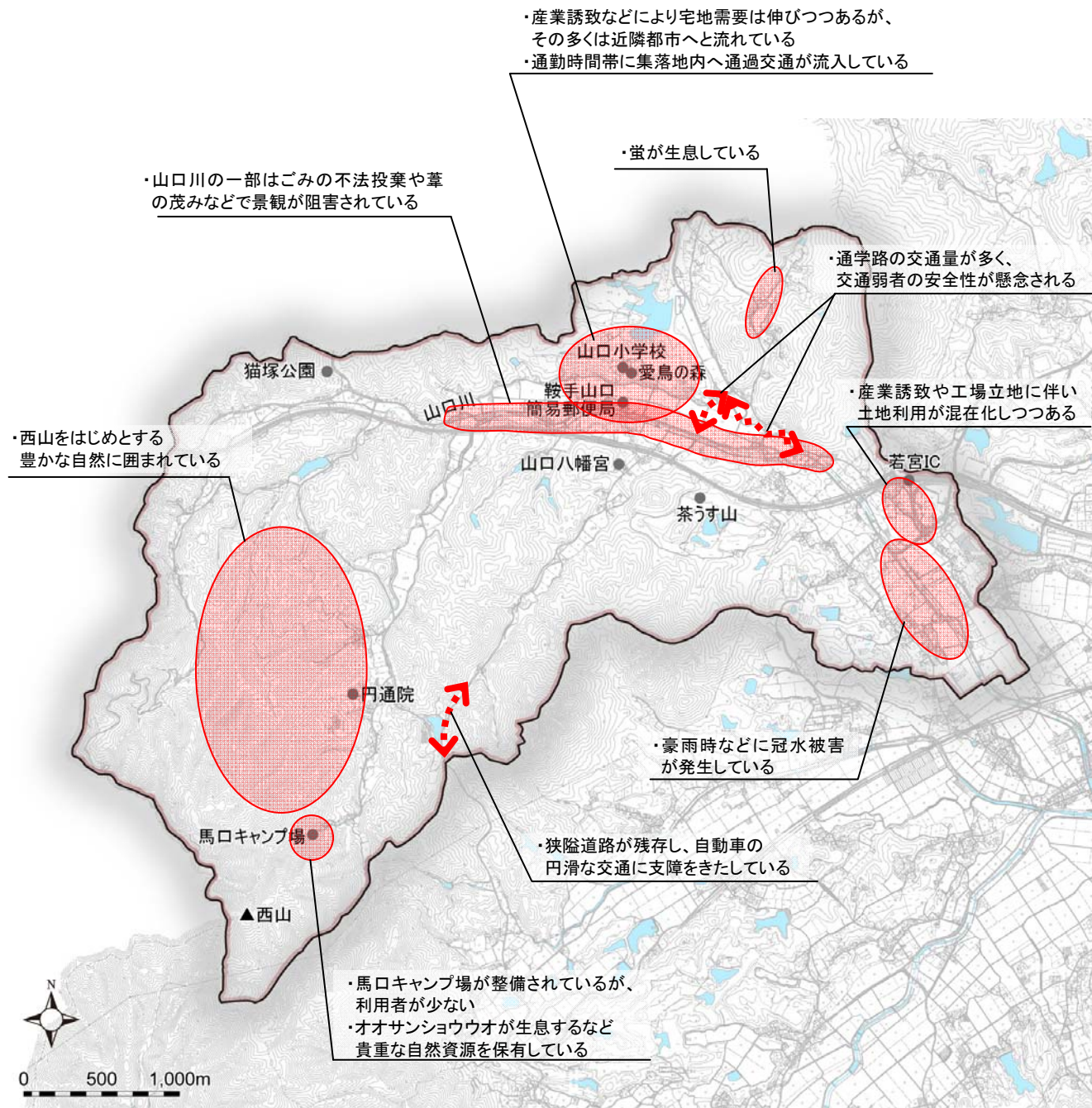
- ・ 安全で安定した飲料水は、簡易水道事業により一部へ提供されていますが、水道が利用できる区域において、100%の世帯の利用が求められています。
- ・ 一部地域は特定環境保全公共下水道の計画区域に指定されていますが、近年の財政悪化などから整備が遅れています。

### ■市街地整備

- ・ 企業誘致や工場立地に伴い新規の宅地需要は伸びつつありますが、その多くが近隣都市へと流れており、市内への居住促進や定住化が課題となっています。
- ・ 主要地方道 飯塚福間線周辺の集落地では、朝夕の通勤時における通過交通の流入により、歩行者・自転車の安全性が懸念されています。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 屋外広告物が無断で設置され、景観の阻害要因となっています。
- ・ 山口川の一部では、ごみの不法投棄や葦による茂みなどで景観が阻害されています。
- ・ 円通院や山口八幡宮、追い出し猫で有名な猫塚公園などが点在しています。
- ・ 沼口などの低地では、豪雨時などに冠水被害が発生しています。



凡 例	
用途地域種別	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#4db6ac;"></span>	第二種低層住居専用地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#4caf50;"></span>	第一種中高層住居専用地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#4caf50;"></span>	第一種住居地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#fff9c4;"></span>	準住居地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#ffccbc;"></span>	近隣商業地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#ff8a65;"></span>	商業地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#bbdefb;"></span>	工業地域

注)当地域には用途地域が指定されていません

▲地域の現況・課題図

### (3) 地域の将来像

#### 『きて、みて、住んでみらんね 山口に』

山口地域では、豊かな自然環境のほか、市外との玄関口である若宮インターチェンジを有しており、自然環境と調和した集落環境の向上やインターチェンジを中心とした交流拠点形成などにより、暮らしやすく住みたくなる地域づくりを進めていきます。

九州自動車道沿線の工業団地やインターチェンジにも近く便利であることから、工場従業員の居住が進んでおり、住環境の整備や交通安全性の向上などにより地域の魅力を高めながら、新規居住者の受け入れを促進していきます。

山林や蛍が飛び交う山口川などの豊かな自然環境と集落が身近であり、今後とも自然環境の保全や活用を図ります。

### (4) 地域づくりの方針

#### ■土地利用

- ・ 南部に広がる豊かな自然環境や田園地、貴重な生態系は、地域資源であることから、将来にわたり積極的に保全していきます。
- ・ 山口小学校周辺の集落地では、生活基盤施設の充実や日用品販売店などの定着を推進し、生活環境ならびに利便性を向上することにより、豊かで活力ある集落拠点の形成を図ります。
- ・ 若宮インターチェンジ周辺では、土地利用の混在が進みつつあることから、特定用途制限地域などの適用を検討し、周辺の優良農地や住環境の保全を図ります。
- ・ 土地利用の規制・誘導策と併せ、必要に応じて宮田都市計画区域の拡大について検討を行います。

#### ■交通体系

- ・ 広域的な道路ネットワークを担う主要幹線道路においては、関係機関と協議を進めながら、車道や歩道の拡幅、バリアフリー化などの機能強化を促進します。
- ・ 歩道の整備や横断歩道及び信号機の整備などを推進し、歩行者の安全確保に努めます。
- ・ 狭隘な生活道路の改良を促進し、歩行者・自転車の安全確保に努めます。
- ・ 交流拠点である若宮インターチェンジとアクセスする主要地方道 飯塚福間線については、道路機能の強化により渋滞解消に努めます。
- ・ 公共交通機関である路線バスや、福祉施設送迎バスは、高齢者をはじめとした交通弱者の重要な交通手段であることから、若宮コミュニティセンター周辺の地区拠点や高速バス停留所、周辺市町の鉄道駅などとの連絡維持・強化に努めます。また、バス路線が存続するよう、より一層の利用促進を図ります。

### ■公園・緑地

- ・ 馬口キャンプ場におけるレクリエーション機能の維持・充実に努めるとともに、利用促進に向けてその魅力を市内及び市外へと広く情報発信します。
- ・ 市民の生活に密着し、子育てや地域のコミュニティ形成などに寄与する身近な公園や、ベンチ、滞留空間などの休憩施設の必要性について、調査・検討していきます。

### ■その他の都市施設

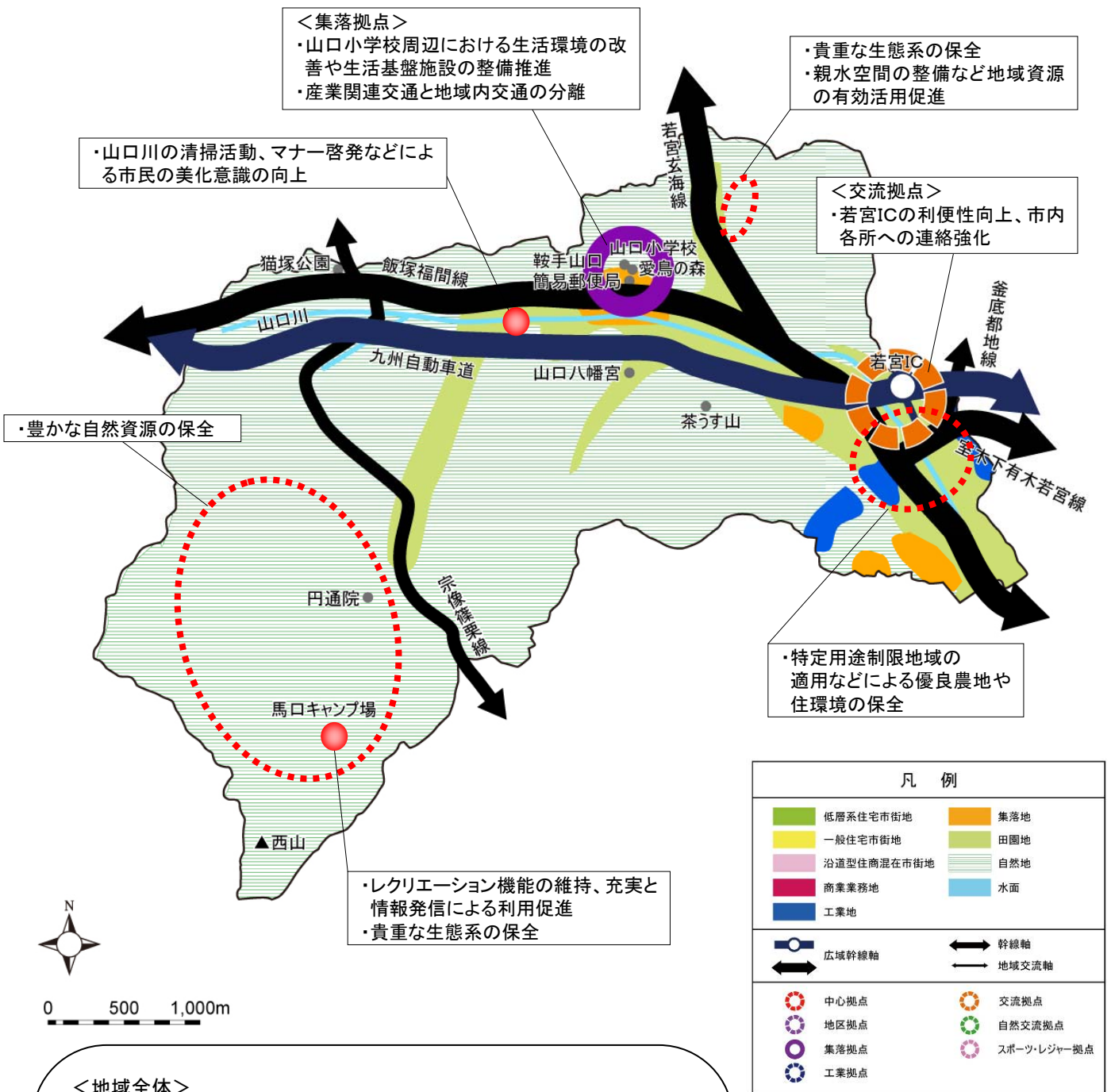
- ・ 安全でおいしい飲料水を安定して提供するため、水源・水質の保全に努めるとともに、給水区域においては利用促進を図ります。
- ・ 下水道については、経済情勢の悪化など社会環境が変化するなかで事業の効率化を図るため、合併処理浄化槽事業などの役割分担のもと、公共下水道事業計画区域の見直しを行うとともに、下水道計画区域外においては合併処理浄化槽の設置を促進します。

### ■市街地整備

- ・ 集落拠点である山口小学校周辺の集落地では、生活環境の改善や生活基盤施設の整備を推進し、定住化を図ります。
- ・ 集落地内においては、狭隘な生活道路の改良、側溝蓋の敷設の推進や防犯灯の設置を促進するとともに、幹線道路の機能強化などにより産業関連交通と地域内交通の分離を図り、歩行者の安全確保に努めます。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 屋外広告物条例による幹線道路での規制誘導などを推進し、良好なまちなみ景観の形成に努めます。
- ・ 市民ボランティアによる清掃活動への参加呼びかけやマナー啓発などにより、市民の意識向上を図るとともに、適切な維持管理の促進により河川や道路の美化に努めます。
- ・ 集落地内の良好な景観は、可能な限り保全するとともに、大木や名木などは保存樹木の指定を行うなど、積極的な保全を図ります。
- ・ 円通院や山口八幡宮、猫塚公園などの地域資源を保全するとともに、観光資源としての活用を図ります。
- ・ 豪雨時に冠水被害が発生している箇所については、関係機関と協議しながら災害対策を促進します。



▲地域づくり方針図



# 若宮西地域

— 将来像 —

## 未来へ残そう 西山・雲海の里

～西山の雲海や竹原古墳などの自然や歴史を生かした魅力ある地域づくり～

### (1) 地域の概況

#### ■位置・地勢

若宮西地域は市の中央西部に位置する地域です。

西部一帯は西山をはじめとする山々に囲まれており、東に向かって黒丸川が流れています。

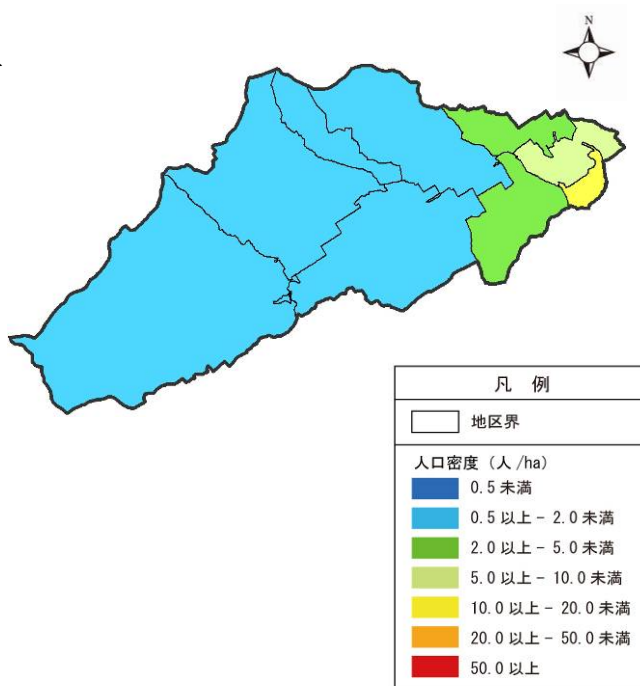
黒丸川の流域には平坦部が広がり、水田や集落地が形成されています。



#### ■人口

人口は、平成17年現在約1,600人であり、市全体の5%に相当します。

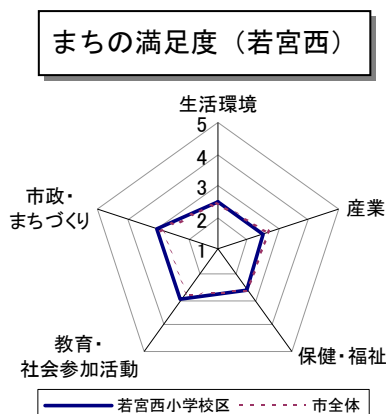
地域のなかでは、東部に人口が集中しています。



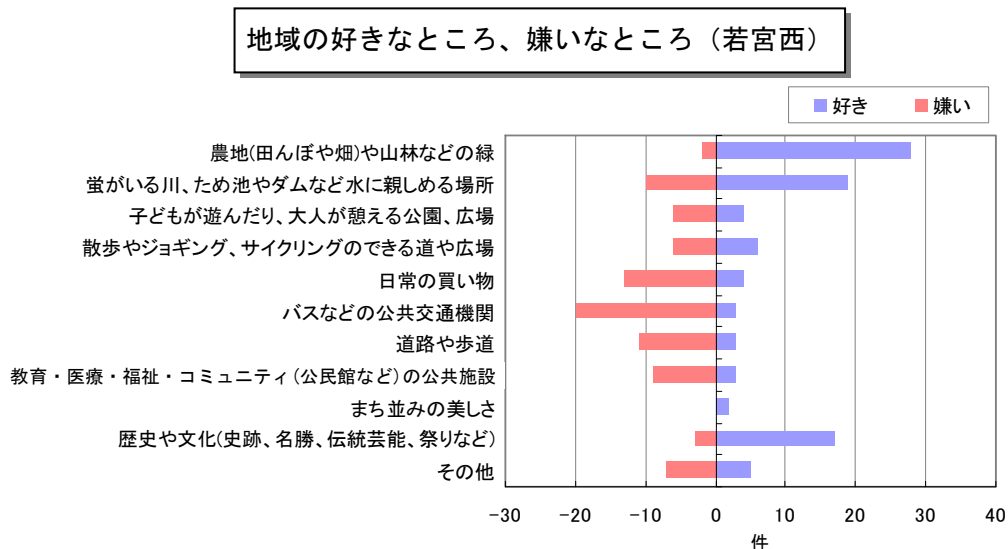
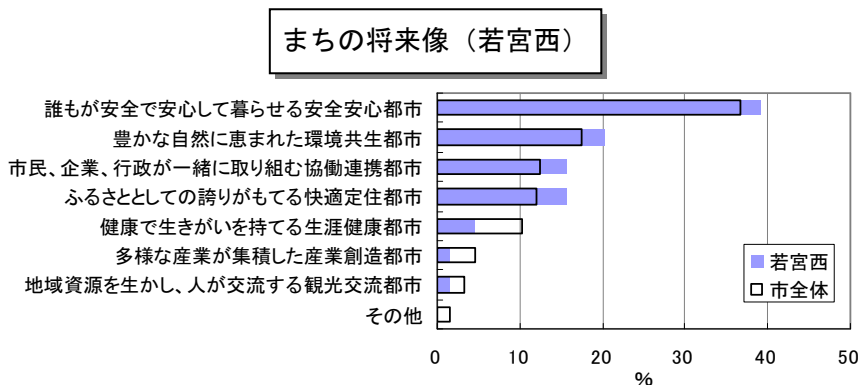
注) 人口密度の母数となる面積は、道路や水面などが居住できない土地を除いた面積としています。

### ■市民の意向

- ・ まちの満足度は、市政・まちづくり及び教育・社会参加活動における満足度がやや高く、市全体と比べて高い評価となっています。
- ・ 地域の人々が求めるまちの将来像は、安全・安心な暮らしの意向が強くとともに、自然環境や協働によるまちづくり、ふるさととしての誇りがもてるまちを望む声も多い傾向にあります。
- ・ 地域の好きなおところとして、農地や山林などの緑や親水空間、歴史や文化が多く挙げられていますが、公共交通や日常の買い物、道路などには改善が求められています。



注) グラフの数値は、回答項目の「非常に満足」に5、「おおむね満足」に4、「どちらともいえない」に3、「やや不満」に2、「非常に不満」に1とそれぞれに数値を与え、回答者との加重平均をしたものである。5に近いほど評価は高く、1に近いほど評価は低い。



## (2) 地域の現況と課題

### ■土地利用

- ・ 西部は西山をはじめとする豊かな自然に囲まれており、中央を横断する黒丸川の流域にはまとまりのある田園地が広がっています。また、中央には山陽新幹線が横断しています。
- ・ 県道沿いに集落地が点在していますが、商店が少なく、日常の買い物における利便性の向上が求められています。
- ・ 人口減少や高齢化などにより耕作放棄地や荒地が散在しており、貴重な地域資源でもある農地の保全が課題となっています。

### ■交通体系

- ・ 主要な道路として、主要地方道 宗像篠栗線、一般県道 黒丸竹原線が横断しています。
- ・ 主要地方道 宗像篠栗線は、清水寺や周辺集落などへのアクセス道路となりますが、見通しが悪い区間などがあり、交通安全上の問題が見受けられます。
- ・ 通学路指定となっている道路の一部では、歩道や横断歩道が未整備の区間が残されており、特に小学校周辺において歩行者の安全性が懸念されています。
- ・ 公共交通機関である路線バスや、福祉施設送迎バスが運行していますが、利便性の向上が求められている一方、利用者の減少などによりバス路線の存続危機にさらされています。

### ■公園・緑地

- ・ 西山には登山道が整備され、市民に親しまれていますが、観光客誘致に寄与するような魅力ある施設が不足しています。
- ・ 住宅市街地内には、生活に密着した身近な公園が不足しています。

### ■その他の都市施設

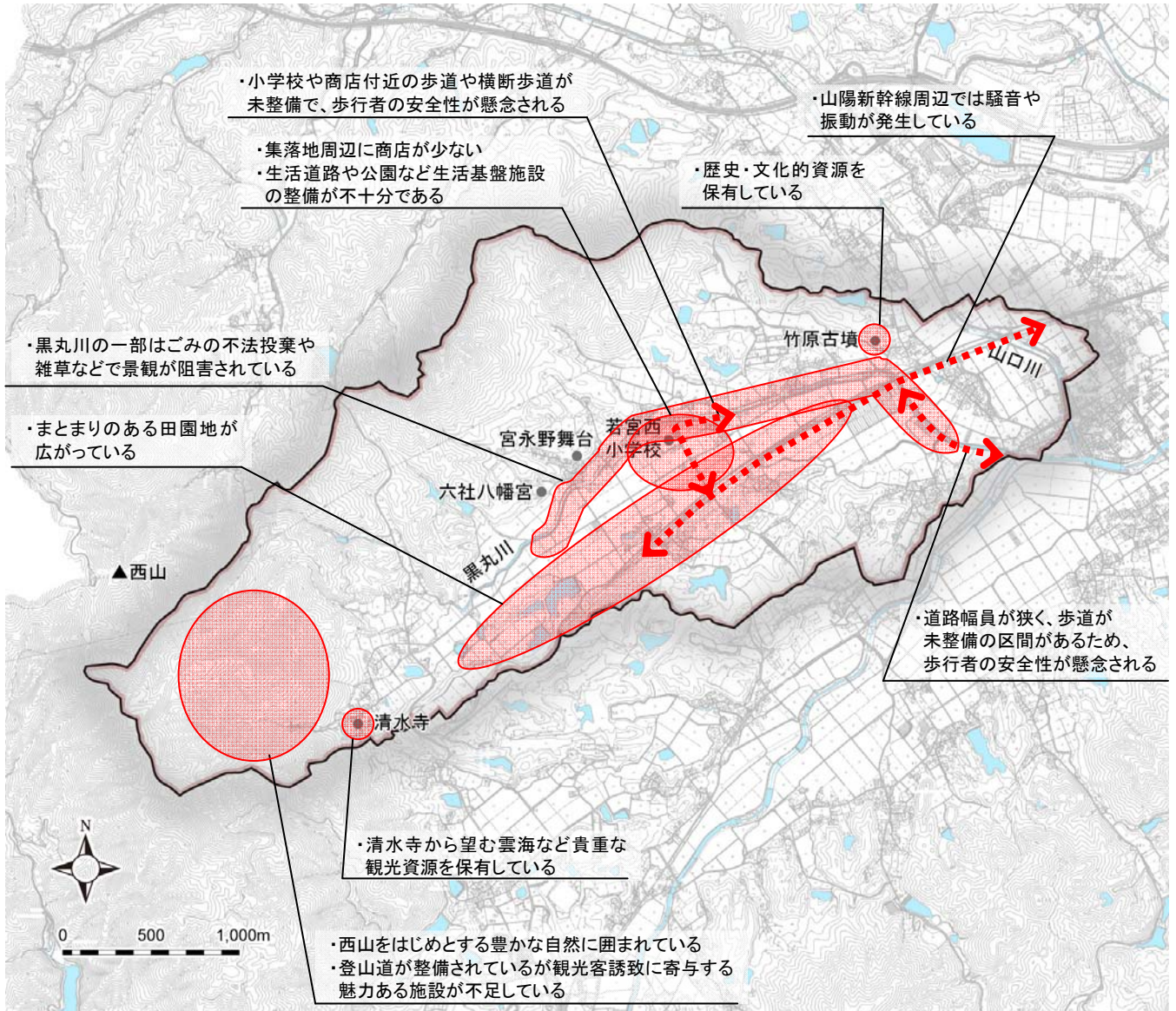
- ・ 安全で安定した飲料水は、簡易水道事業により一部へ提供されていますが、水道が利用できる区域において、100%の世帯の利用が求められています。
- ・ 一部地域は特定環境保全公共下水道の計画区域に指定されていますが、近年の財政悪化などから整備が遅れています。

### ■市街地整備

- ・ 県道沿いに点在する集落地では、生活道路や公園などの生活基盤施設の整備が不十分な状況にあります。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 西山から流れる黒丸川は市民の心象風景でもありますが、その黒丸川や主要な道路の一部では、ごみの不法投棄や雑草などで景観が阻害されている区間があります。
- ・ 竹原古墳や八幡宮、清水寺、宮永野舞台などは、地域の歴史・文化的な資源であるとともに、随所に配置されている神社は市民の憩いの場として機能しています。
- ・ 清水寺から臨む雲海は、市内でも有数の観光資源であることから、周辺の自然環境を保全しつつ、観光客の誘致に向けた施策などが求められています。
- ・ 山陽新幹線の周辺では、騒音や振動などが発生しており、閑静な住環境が求められています。



凡 例	
用途地域種別	
	第二種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	工業地域

注) 当地域には用途地域が指定されていません

▲地域の現況・課題図

### (3) 地域の将来像

#### 『未来へ残そう 西山・雲海の里』

若宮西地域では、本市における幹線道路が配されていないことから、他地域に比べ静かな田園集落環境が形成されており、環境維持を図りつつ、生活に必要な利便施設の立地促進を行い、豊かで趣がある地域づくりを進めていきます。

西山の雲海をはじめとする里山としての魅力や竹原古墳、清水寺など地域の有する多くの資源を未来へ残していくとともに、積極的に情報発信することにより、観光客やUJIターン希望者の誘致を図ります。

朝夕の時間帯に通過交通の流入が見受けられることから、必要に応じて交通安全対策を促進していきます。

### (4) 地域づくりの方針

#### ■土地利用

- ・ 西部に広がる豊かな自然環境や田園地は、地域の自然資源であることから、将来にわたり積極的に保全していきます。
- ・ 若宮西小学校周辺の集落地では、生活基盤施設の充実や日用品販売店などの定着を推進し、生活環境ならびに利便性を向上することにより、豊かで活力ある集落拠点の形成を図ります。
- ・ 農家減少などの農業に対する現況を的確に捉え、田園地の有効利用を図り農業振興に努めます。
- ・ 土地利用の規制・誘導策と併せ、必要に応じて宮田都市計画区域の拡大について検討を行います。

#### ■交通体系

- ・ 主要な道路においては、歩道の整備やバリアフリー化などの機能強化を促進します。
- ・ 歩道の整備や横断歩道及び信号機の設置などを推進し、歩行者の安全確保に努めます。
- ・ 公共交通機関である路線バスや、福祉施設送迎バスは、高齢者をはじめとした交通弱者の重要な交通手段であることから、若宮コミュニティセンター周辺の地区拠点や高速バス停留所、周辺市町の鉄道駅などとの連絡維持・強化に努めます。また、バス路線が存続するよう、より一層の利用促進を図ります。

### ■公園・緑地

- ・ 市民ボランティアなどによる西山登山道の維持管理を促進するとともに、頂上付近を公園やレジャー施設などに活用することを検討し、市民のレクリエーションの場としての魅力向上を図ります。
- ・ 市民の生活に密着し、子育てや地域のコミュニティ形成などに寄与する身近な公園の必要性について、調査・検討していきます。

### ■その他の都市施設

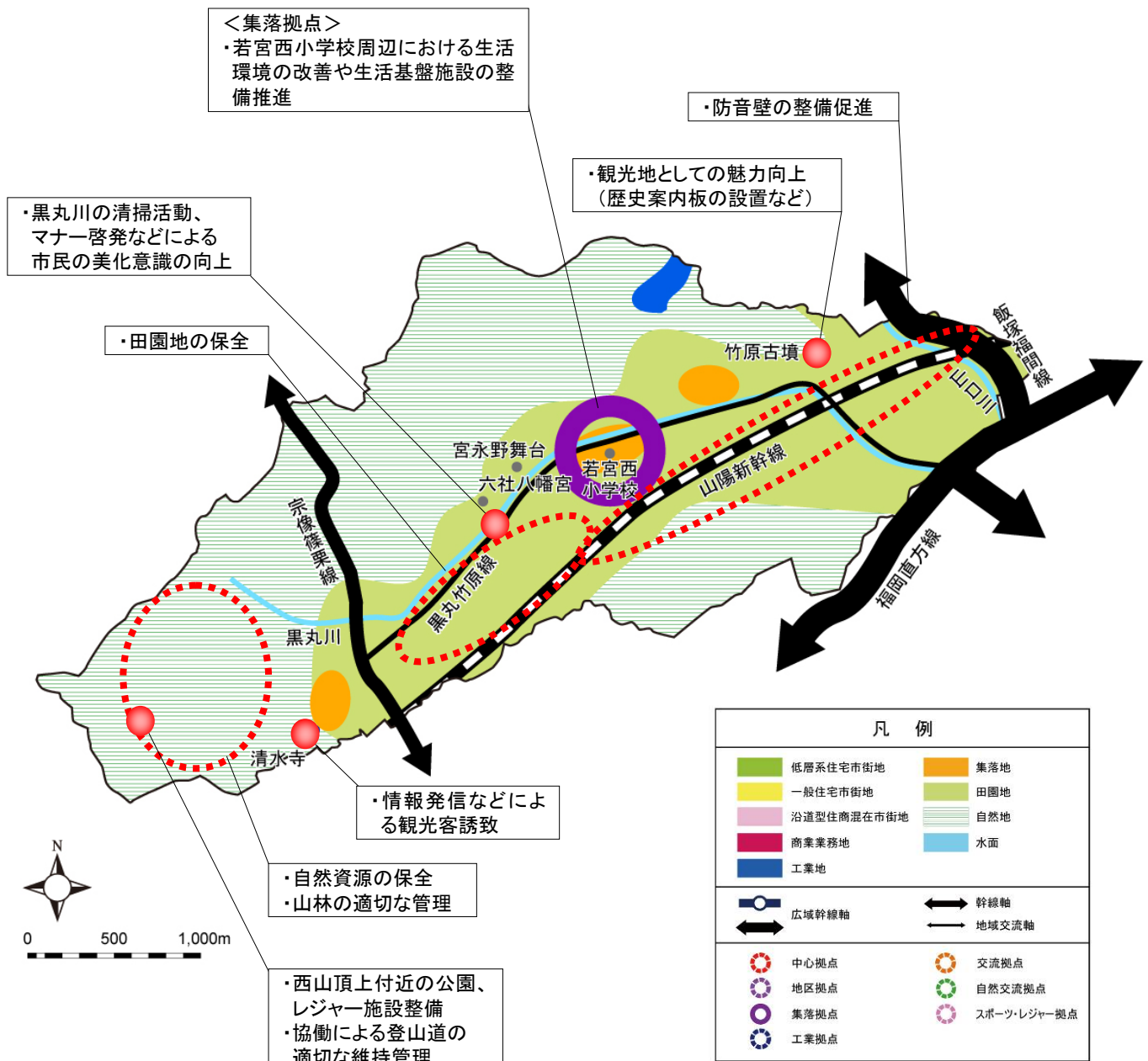
- ・ 安全でおいしい飲料水を安定して提供するため、水源・水質の保全に努めるとともに、給水区域においては利用促進を図ります。
- ・ 下水道については、経済情勢の悪化など社会環境が変化するなかで事業の効率化を図るため、合併処理浄化槽事業などとの役割分担のもと、公共下水道事業計画区域の見直しを行うとともに、下水道計画区域外においては合併処理浄化槽の設置を促進します。

### ■市街地整備

- ・ 集落拠点である若宮西小学校周辺の集落地では、生活環境の改善や必要な生活基盤施設の整備を推進し、定住化を図ります。
- ・ 集落地内においては、狭隘な生活道路の改良、側溝蓋の敷設を推進するとともに、防犯灯の設置を促進し、歩行者の安全確保に努めます。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 西山などにおける山林の適切な管理施策について検討・推進します。
- ・ 市民ボランティアによる清掃活動への参加呼びかけやマナー啓発などにより、市民の意識向上を図るとともに、適切な維持管理の促進により河川や道路の美化に努めます。
- ・ 雲海や竹原古墳、清水寺、宮永野舞台など地域が有する自然資源や歴史・文化的資源は、市内及び市外へと広く情報発信し、観光客を誘致するとともに、歴史に関する案内板の設置などを推進し、観光名所としての魅力向上を図ります。
- ・ 緑豊かで魅力的な市街地空間を形成するため、点在する社寺林や屋敷林などの身近な緑を保全します。
- ・ 山陽新幹線の沿道の集落地では、防音壁の整備促進などについて関係機関と調整を図ります。



<地域全体>

- ・宮田都市計画区域の拡大について検討
- ・主要な道路の機能強化
- ・歩道、横断歩道、信号機の整備
- ・バス交通の若宮コミュニティセンター周辺の地区拠点などへの連絡維持・強化、利用促進
- ・社寺林や屋敷林などの身近な緑の保全
- ・身近な公園の活用方法検討、利用促進
- ・水質・水源の保全と給水区域における利用促進
- ・公共下水道事業計画区域の見直し・合併処理浄化槽の設置促進
- ・生活道路における狭隘道路の改良、側溝蓋の敷設、防犯灯の増設
- ・河川や道路の清掃活動、マナー啓発などによる市民の美化意識の向上

▲地域づくり方針図



# 吉川・若宮南地域

— 将来像 —

## あたたかい 心の古里 若宮

～豊かな自然や脇田温泉を生かした魅力ある観光地と安心して暮らせる住環境づくり～

### (1) 地域の概況

#### ■位置・地勢

吉川・若宮南地域は市の南部に位置し、古賀市、久山町、篠栗町、飯塚市と接する地域です。

東・西・南の三方を犬鳴山、間夫山、湯原山、西山などの山々に囲まれており、その一部は太宰府県立自然公園に指定されています。

また、犬鳴川及び八木山川が流れており、それらが合流する北部の平坦部には、集落地が形成されています。

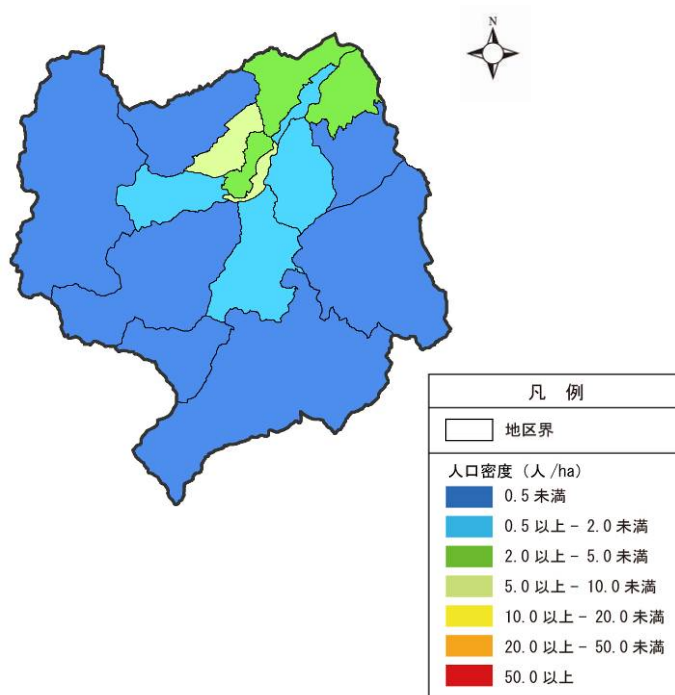
湯原山の麓には奈良時代からの歴史をもつ脇田温泉が涌出しています。



#### ■人口

人口は、平成17年現在約2,900人であり、市全体の9%に相当します。

地域のなかでは、中央から北部にかけて人口が集中しています。



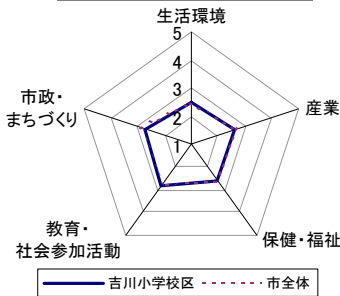
注) 人口密度の母数となる面積は、道路や水面などが居住できない土地を除いた面積としています。

■市民の意向

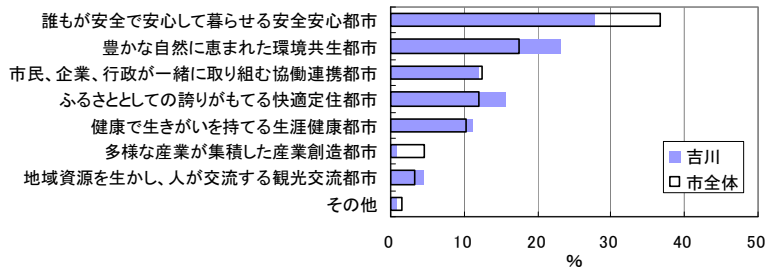
- ・ まちの満足度は、吉川では市全体と同じ傾向にあります。若宮南では全項目で市全体と比べて満足度が低くなっています。
- ・ 地域の人々が求めるまちの将来像は、安全・安心な暮らしや自然環境を望む声が多く、特に若宮南では豊かな自然に囲まれた自然環境が非常に強くなっています。
- ・ 地域の好きなどころとして、両地域とも農地や山林などの緑や親水空間が多く挙げられています。公共交通や日常の買い物などには改善が求められています。

吉川

まちの満足度（吉川）

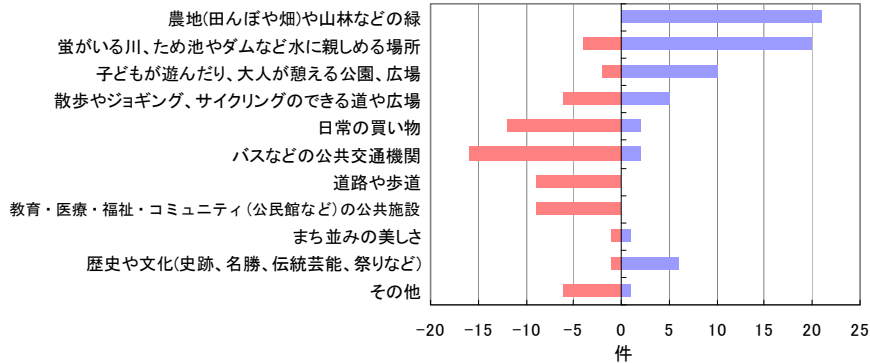


まちの将来像（吉川）



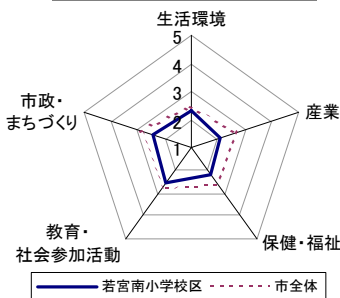
注) グラフの数値は、回答項目の「非常に満足」に5、「おおむね満足」に4、「どちらともいえない」に3、「やや不満」に2、「非常に不満」に1とそれぞれに数値を与え、回答者との加重平均をしたものである。5に近いほど評価は高く、1に近いほど評価は低い。(若宮南も同様)

地域の好きなどころ、嫌いなどころ（吉川）

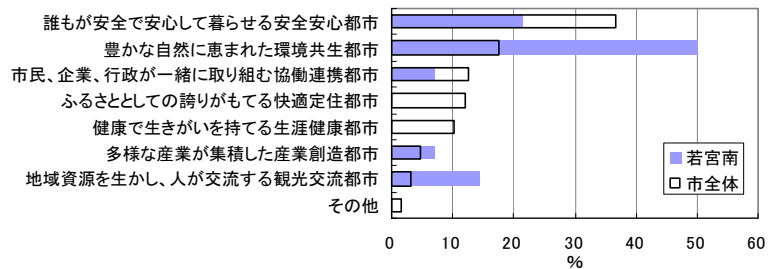


若宮南

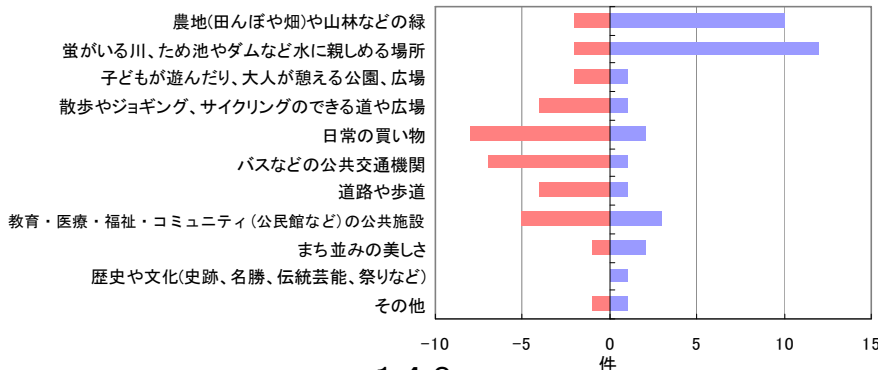
まちの満足度（若宮南）



まちの将来像（若宮南）



地域の好きなどころ、嫌いなどころ（若宮南）



## (2) 地域の現況と課題

### ■土地利用

- ・ ほぼ全域が山間地で、犬鳴山、間夫山、湯原山をはじめとする大規模な自然地が広がっているとともに、北部の犬鳴川流域にはまとまりのある田園地が広がっており、これらの自然環境を地域資源として保全していくことが必要です。
- ・ 湯原山の麓には脇田温泉が涌出し、犬鳴川沿いには複数の旅館が立地しています。
- ・ 吉川小学校周辺にはドリームホープ若宮があり、青空市など地域の交流拠点として活用されていますが、その他の商店が少なく、日常の買い物における利便性の向上が求められています。
- ・ ドリームホープ若宮周辺には、新たに農業観光振興センター（道の駅（仮称））が計画されています。
- ・ 若宮南小学校周辺には集落地が形成されていますが、山間地に位置することから、自然災害などで孤立することが懸念されています。

### ■交通体系

- ・ 主軸となる幹線道路として、主要地方道 福岡直方線、宗像篠栗線、一般県道 八木山若宮線が配されています。
- ・ 一般県道 八木山若宮線は、幅員が狭い上、大型車の通行が多く、交通安全上の課題があるとともに、災害が多発している箇所があります。
- ・ 通学路指定となっている幹線道路の一部では、歩道が未整備の区間が残されており、歩行者の安全性が懸念されています。
- ・ 大雨や地震時には土砂災害などの自然災害により道路が通行不能となる恐れがあるため、避難ルートや災害支援ルートの確保が求められています。
- ・ 公共交通機関として、宮田方面やJR博多駅などの市外へアクセスする路線バスが運行しているほか、福祉施設送迎バスが運行していますが、利便性の向上が求められている一方、利用者の減少などによりバス路線の存続危機にさらされています。

### ■公園・緑地

- ・ 芝生フィールドがある西鞍の丘総合運動公園が整備され、スポーツ・レジャーの場として多くの市民に利用されています。また、宮若ほたる祭などのイベントも開催されています。
- ・ 犬鳴ダムでは、ダムに隣接して東屋、ベンチ、滝などの親水公園やレストランなどの施設が整備されており、市民の憩いの場となっています。
- ・ 集落地内には、生活に密着した身近な公園が不足しています。

### ■その他の都市施設

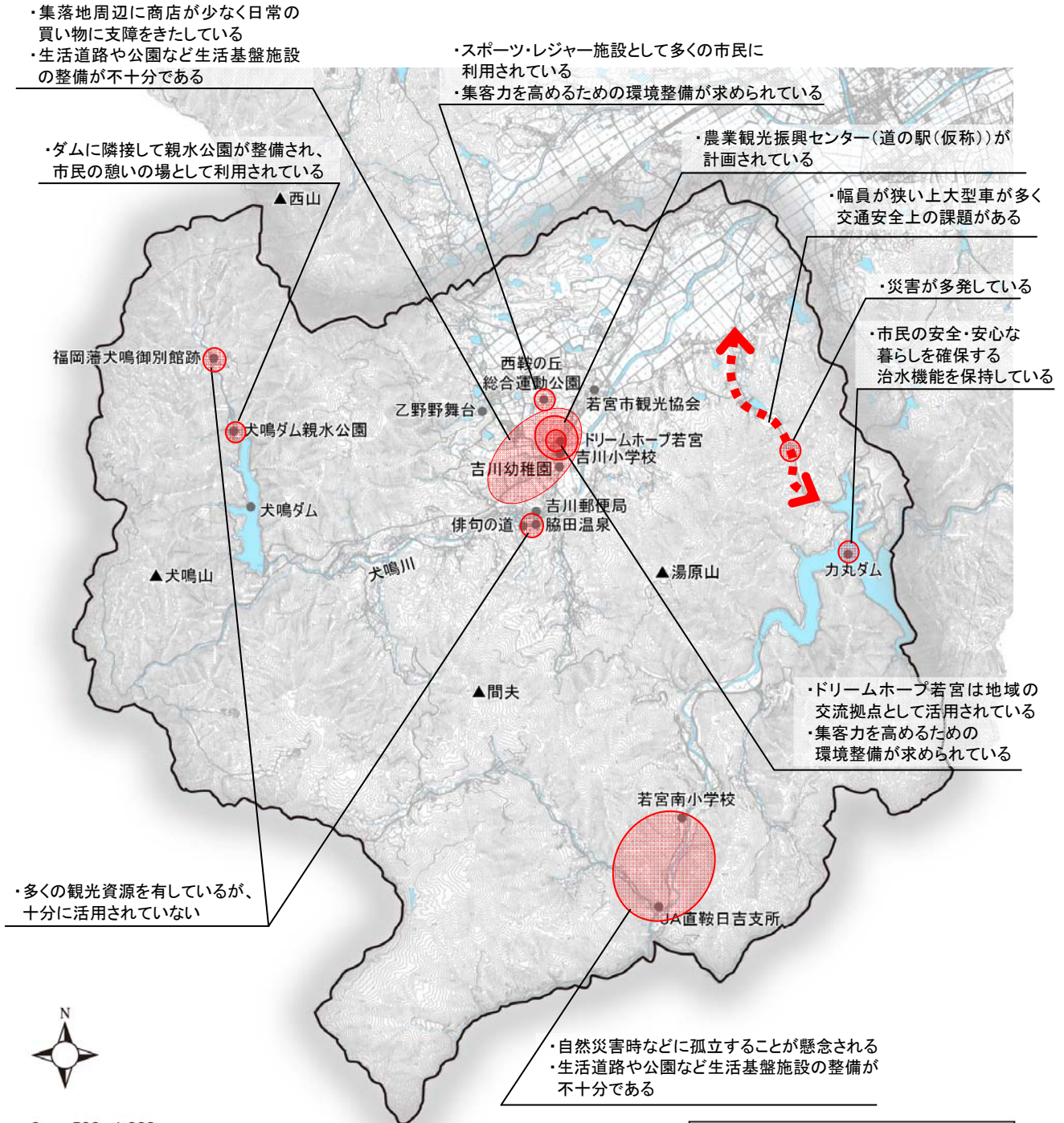
- ・ 一部地域は特定環境保全公共下水道の計画区域に指定されていますが、近年の財政悪化などから整備が遅れています。
- ・ 犬鳴ダム及び力丸ダムが整備されており、その治水機能は、市民の安全・安心な暮らしに役立っています。

### ■市街地整備

- ・ 吉川小学校周辺ならびに若宮南小学校周辺の集落地では、生活道路や公園、防犯灯などの生活基盤施設の整備が不十分な状況にあります。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 多くの市民や観光客が集まるドリームホープ若宮では、景観整備など、より集客力を高めるための環境整備が求められています。
- ・ 犬鳴川や八木山川、犬鳴ダムに隣接する親水空間では、美しい景観を保全していくことが必要です。
- ・ 脇田温泉や福岡藩犬鳴御別館跡などの多くの観光資源や、観光・交流の拠点となるドリームホープ若宮を有していますが、十分に活用されていない状況にあります。
- ・ 若宮南地域の一部では携帯電話通信サービス不感地域が残存しており、その解消が課題となっています。



0 500 1,000m

凡例	
用途地域種別	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#c8e6c9;"></span>	第二種低層住居専用地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#8bc34a;"></span>	第一種中高層住居専用地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#4caf50;"></span>	第一種住居地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#fff9c4;"></span>	準住居地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#ffe0b2;"></span>	近隣商業地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#f44336;"></span>	商業地域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#2196f3;"></span>	工業地域

▲地域の現況・課題図

注)当地域には用途地域が指定されていません

### (3) 地域の将来像

#### 『あたたかい心の古里 若宮』

吉川・若宮南地域では、太宰府県立自然公園を含む豊かな自然地や脇田温泉、ドリームホープ若宮など、多くの観光資源を有しており、これらの積極的な保全や活用、情報発信を図りながら人々の交流を促進し、あたたかい心の古里のような魅力ある地域づくりを進めていきます。

山林を多く有する本地域では、自然災害が多く発生し、特に若宮南校区では山間部に位置することから孤立する場合もあり、災害対策を図りながら、安心して暮らせる環境づくりを進めます。

若宮南校区においては、市街地からの距離も遠いことから、バス交通の維持や日常的な買物環境の確保などを促進していきます。

### (4) 地域づくりの方針

#### ■土地利用

- ・ 一帯に広がる豊かな自然地や田園地は、貴重な地域資源であることから、将来にわたり積極的に保全していきます。また、脇田温泉については重要な観光資源として活用を図るとともに、担い手育成による活性化を図ります。
- ・ 吉川小学校周辺の集落地では、交流拠点であるドリームホープ若宮と連携しながら、生活基盤施設の充実や日用品販売店などの定着を推進し、生活環境ならびに利便性を向上することにより、豊かで活力ある集落地の形成を図ります。
- ・ 農業観光振興センター（道の駅（仮称））の整備を推進し、交流拠点としてふさわしい土地利用の形成を図ります。
- ・ 若宮南小学校周辺については、災害対策により集落の孤立を解消し、安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、生活基盤施設の充実や日用品販売店などの定着を促進し、豊かで活力ある集落拠点の形成を図ります。
- ・ 土地利用の規制・誘導策と併せ、必要に応じて宮田都市計画区域の拡大について検討を行います。

#### ■交通体系

- ・ 主要な道路においては、狭隘区間の解消や歩道の整備、バリアフリー化などの機能強化を促進します。
- ・ 歩道の整備や横断歩道及び信号機の整備などを推進し、歩行者の安全確保に努めます。
- ・ 災害時の孤立が懸念される若宮南小学校周辺では、吉川、篠栗、飯塚方面などへの複数アクセスルートを確保し、災害に強い道路ネットワークづくりを推進します。
- ・ 公共交通機関である路線バスや、福祉施設送迎バスは、高齢者をはじめとした交通弱者の重要な交通手段であることから、若宮コミュニティセンター周辺の地区拠点や高速バス停留所、周辺市町の鉄道駅などとの連絡維持・強化に努めます。また、バス路線が存続するよう、より一層の利用促進を図ります。

### ■公園・緑地

- ・ 西鞍の丘総合運動公園は、スポーツ・レジャー拠点として活用を図り、スポーツ人口や市外からの交流人口の増加を促進します。また、犬鳴ダムに隣接する親水公園は、適切な維持管理を促進していきます。
- ・ 市民の生活に密着し、子育てや地域のコミュニティ形成などに寄与する身近な公園の必要性について、調査・検討していきます。

### ■その他の都市施設

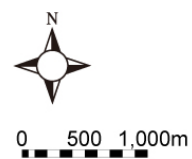
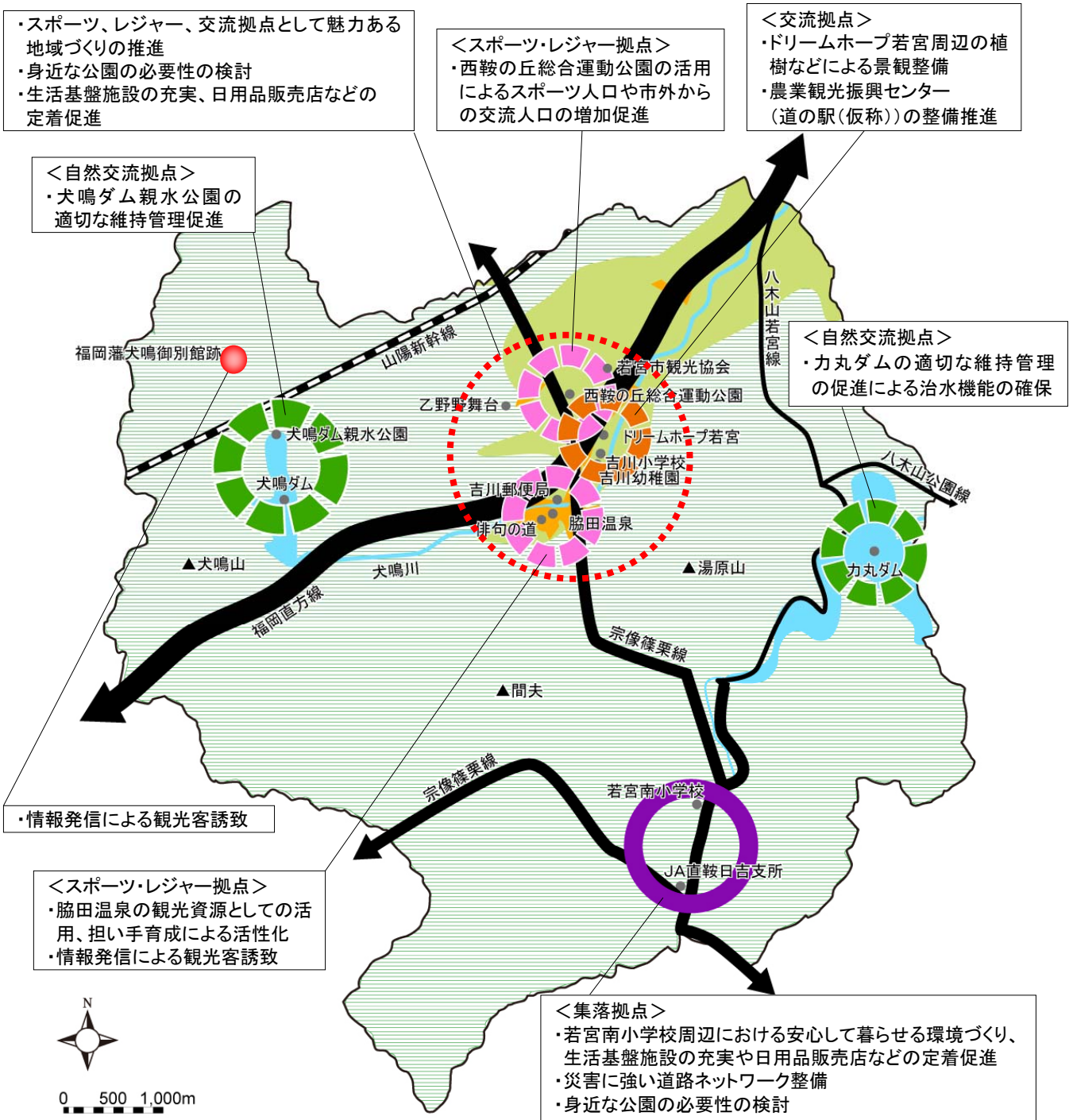
- ・ 安全でおいしい飲料水を安定して提供するため、水源・水質の保全に努めます。
- ・ 下水道については、経済情勢の悪化など社会環境が変化するなかで事業の効率化を図るため、合併処理浄化槽事業などの役割分担のもと、公共下水道事業計画区域の見直しを行うとともに、下水道計画区域外においては合併処理浄化槽の設置を促進します。
- ・ 犬鳴ダム及び力丸ダムについては、今後とも適切な維持管理を促進し、治水機能の確保に努めます。

### ■市街地整備

- ・ 吉川小学校周辺の集落地では、生活環境の改善や必要な生活基盤施設の整備を推進し、定住化を図ります。
- ・ 集落拠点である若宮南小学校周辺の集落地では、吉川小学校周辺へのアクセス確保や日常的な買い物環境を確保し、定住化を図ります。
- ・ 集落地内においては、狭隘な生活道路の改良、側溝蓋の敷設を推進するとともに、防犯灯の設置を促進し、歩行者の安全確保を図ります。

### ■都市景観・都市環境

- ・ 交流拠点であるドリームホープ若宮周辺では植樹や適切な維持管理を推進し、魅力ある景観形成を図ります。
- ・ 犬鳴川や八木山川、犬鳴ダムに隣接する親水空間の適切な維持管理を促進し、自然交流拠点の美しい景観の維持に努めます。また、災害復旧にあわせて自然石などを使用した整備を行うなど、付加的な景観整備を推進します。
- ・ スポーツ・レジャー拠点である脇田温泉や貴重な観光資源である福岡藩犬鳴御別館跡などの魅力を市内及び市外へと広く情報発信し、観光客誘致による地域活性化を図ります。
- ・ 携帯電話通信サービス不感地域については、事業者によるアンテナ設置などを促進します。



<地域全体>

- ・宮田都市計画区域の拡大について検討
- ・一帯に広がる豊かな自然地や田園地の保全
- ・主要な道路の機能強化促進
- ・歩道、横断歩道、信号機の整備
- ・バス交通の若宮コミュニティセンター周辺の地区拠点などへの連絡維持・強化、利用促進
- ・水質・水源の保全と給水区域における利用促進
- ・公共下水道事業計画区域の見直し、合併処理浄化槽の設置促進
- ・生活道路における狭隘道路の改良、側溝蓋の敷設、防犯灯の設置促進
- ・携帯電話サービス不感地域におけるアンテナ設置促進

凡例	
低層系住宅市街地	集落地
一般住宅市街地	田園地
沿道型住商混在市街地	自然地
商業業務地	水面
工業地	
広域幹線軸	幹線軸
地域交流軸	
中心拠点	交流拠点
地区拠点	自然交流拠点
集落拠点	スポーツ・レジャー拠点
工業拠点	

▲地域づくり方針図